

ICT活用に向けた置農の授業研究開始



本校では10月4日(月)から11月19日(金)までを職員校内研究期間とし、『ICTを活用した授業』をテーマに授業研究を開始しました。その先陣を切って本校の庄司典仁教諭が10月5日(火)に生物生産科1年生を対象に科目「農業と環境」の授業を行いました。イネの性質、栽培管理、生育調査などを経て、当日は収穫したコメの品種を食味試験により判定するという授業が展開されました。ICTを駆使したコメの特徴説明、グループによる熟議など大変充実した学習活動の中で、これまで何も意識せずに米を食してきた生徒が真剣かつ楽しそうに判定に取り組みました。

農業教育は感性を養う教育でもあります。こういった授業を通し、何が良くて何がダメか、どんなものが一流かを判断する力がつき、メタ認知力が向上していくと確信します。いい授業でした。